



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日
東

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所
 コード番号 6800 URL <https://www.yokowo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 SCI本部長 (氏名) 多賀谷 敏久 (TEL) 03-3916-3111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	61,830	8.3	3,100	314.6	3,713	110.4	2,557	165.3
2024年3月期第3四半期	57,104	△5.3	747	△85.3	1,764	△73.3	963	△78.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,885百万円(92.6%) 2024年3月期第3四半期 2,016百万円(△61.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	109.70	—
2024年3月期第3四半期	41.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	80,649	53,197	65.8
2024年3月期	76,408	50,384	65.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 53,101百万円 2024年3月期 50,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2025年3月期	—	24.00	—		
2025年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	6.6	4,000	147.2	3,650	△1.6	2,350	55.4	100.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ナンシン 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	23,849,878株	2024年3月期	23,849,878株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	539,193株	2024年3月期	539,008株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	23,310,795株	2024年3月期3Q	23,310,902株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、VCCS及びCTC並びにFC・MDセグメントが前年同期比で増収となったことなどにより、61,830百万円(前年同期比+8.3%)となりました。営業損益につきましては、VCCSセグメントの損益が安定化したことに加え、CTC及びFC・MDの両セグメントも増益となったことなどにより、3,100百万円の利益(前年同期比+314.6%)となりました。経常利益につきましては、期末為替レートが円安方向に推移したことによる為替差益564百万円を計上したことなどにより、3,713百万円の利益(前年同期比+110.4%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第2四半期において中国市場における需要低迷による当社子会社での人員整理・解雇を進めたことに伴う事業構造改善費用など251百万円を特別損失に計上したものの、経常増益などにより、2,557百万円の利益(前年同期比+165.3%)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における期中平均為替レートは1米ドル=152.61円、期末為替レートは1米ドル=158.18円の実績でした。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① VCCS(主要製品：車載用アンテナ)

当セグメントの主要市場である自動車市場は、世界的な半導体不足・部品供給停滞などの影響が緩和され、販売は改善方向に向かっておりますが、世界経済減速などを受けて新車需要の回復は鈍化傾向にあります。地域別でも、米国/中国/日本国内市場を中心に販売台数は横ばいしないしわずかに減少しました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ/GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナの販売は、日系自動車メーカーの中国市場向けが不振となったことに加えて一部顧客の生産調整の影響を受けたことなどにより、前年同期比で減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は41,793百万円(前年同期比+0.6%)と、前年同期比で横ばいとなりました。セグメント損益につきましては、現地通貨高に伴う中国/ベトナム生産拠点における労務費などの増加に加え、海上運賃など物流費が増加傾向にあるものの、製造体制の見直しや安定受注による生産効率向上などにより、2,092百万円の利益(前年同期比+4.2%)となりました。

② CTC(主要製品：半導体検査用ソケット及びプローブカード)

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、PC/スマートフォン向けが依然として低調に推移し、産業機械/自動車向けの伸びが鈍化しているものの、生成AI関連の需要の高まりにより全体としては若干の回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループの主力製品である半導体後工程検査用治具の販売は、PC/スマートフォン向けロジック半導体検査用ソケットなどの受注が底ばいで推移しているものの、生成AI関連の検査需要取り込みなどにより、前年同期を上回りました。半導体前工程検査用治具の販売は、高周波電子部品検査用MEMSプローブカード(YPX)の販売が増加傾向に転じ、周辺機器を含めてワンストップでソリューションを提供するターンキービジネスが増加したことなどにより、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は11,440百万円(前年同期比+24.6%)と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、一時的な技術課題対応費用が発生したものの、増収に伴う増益に加え、製品ミックスの良化などにより、961百万円の利益(前年同期は726百万円の損失)となりました。

③ FC(主要製品：電子機器用微細コネクタ)・MD(主要製品：医療機器用部品/ユニット)

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、ウェアラブル端末の多様化・高機能化により今後の成長が期待されるほか、スマートフォンの出荷台数は前年同期比で増加しました。POS端末市場についても、物流/製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長が見込まれ、需要は堅調に推移しております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするFC事業におきましては、顧客の生産調整が解消されたことによりPOS端末向けの受注が回復し、ワイヤレスイヤホンなどウェアラブル端末向けの販売も堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

MD事業につきましては、主要顧客である国内大手医療機器メーカー向けのカテーテル用部品/ユニット品の販売が増加したことに加え、当社が製造パートナーとして参画しているベンチャーエコシステム向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は8,375百万円(前年同期比+38.2%)と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、FC事業における増収に伴う増益などにより、651百万円の利益(前年同期は41百万円の利益)となりました。

④ インキュベーションセンター(主要製品：MaaS/IoT向けアンテナ及びソリューション)

当社は、MaaS/IoTなどの新規成長市場や、高速大容量通信に向けた光通信市場に対し、新たなビジネス創出・ビジネスモデル革新を目指して、本格的な事業展開に取り組んでまいりました。当セグメントの主要市場であるMaaS/IoT市場は、カーシェアリングなどモビリティの進展、あらゆるものがインターネットにつながるIoTの普及に伴い、順調に成長するものとみられております。

このような状況の中、プラットフォーム事業におきましては、IoT向けのスマートアンテナ技術を活用したMIMOアンテナや、MaaS/レンタカー向け車載鍵管理ソリューションの拡販を進めました。

当セグメントに第2四半期連結会計期間まで含めておりました先端デバイス事業につきましては、光通信市場向けに光電変換デバイス技術を活用した光コネクタの量産化に向けた体制構築を推進しておりましたが、半導体検査市場向けの光電融合プロジェクトとして発展的に解消しました。

この結果、当セグメントの売上高は218百万円(前年同期比△26.4%)と、前年同期比で減少しました。セグメント損益につきましては、展開初期の新規事業が中心の当セグメントにおける売上高は小規模なものとなっており、投資が先行している段階にあることから、616百万円の損失(前年同期は592百万円の損失)となりました。

(事業セグメント別連結売上高 前年同期比較)

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自 2023年4月 至 2023年12月	当第3四半期 連結累計期間 自 2024年4月 至 2024年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
VCCS	41,561	41,793	+0.6
CTC	9,182	11,440	+24.6
FC・MD	6,058	8,375	+38.2
インキュベーション センター	296	218	△26.4
その他	5	3	△44.2
合計	57,104	61,830	+8.3

(事業セグメント別連結売上高 四半期別推移)

(単位：百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自 2024年4月 至 2024年6月	第2四半期 連結会計期間 自 2024年7月 至 2024年9月	当第3四半期 連結会計期間 自 2024年10月 至 2024年12月
VCCS	14,433	13,281	14,078
CTC	3,606	3,860	3,972
FC・MD	2,749	2,711	2,913
インキュベーション センター	87	76	54
その他	1	1	1
合計	20,877	19,931	21,021

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金増加1,184百万円、売上債権増加975百万円、棚卸資産増加1,141百万円、無形固定資産増加1,055百万円などにより、80,649百万円(前連結会計年度末比4,241百万円の増加)となりました。現金及び預金の増加は、営業増益などによるものです。また、棚卸資産の増加は、円安に伴う在庫評価の円貨換算額増加などによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金減少1,159百万円がありましたが、仕入債務増加1,417百万円、長期借入金(一年内返済予定の長期借入金を含む)増加356百万円、未払法人税等増加435百万円などにより、27,452百万円(前連結会計年度末比1,428百万円の増加)となりました。仕入債務の増加は、主にVCCSセグメントにおいて、中華圏における春節に向けた在庫積み増しのための部材等の仕入増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、為替換算調整勘定増加1,305百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,557百万円の計上、配当金支払1,072百万円などにより、53,197百万円(前連結会計年度末比2,813百万円の増加)となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.8%(前連結会計年度末比+0.0ポイント)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績見通しにつきましては、予想の前提となる条件を次のとおり想定しております。

- ・当社の主要市場である自動車市場につきましては、今年度中は概ね同水準で推移するものと想定しております。
- ・半導体検査市場につきましては、PC/スマートフォン向けロジック半導体検査市場が低調に推移するとみられるものの、生成AI関連の半導体検査需要は引き続き拡大するものと想定しております。
- ・携帯通信端末市場につきましては、POS端末など電子機器端末向けの需要が、過剰在庫の解消に伴い緩やかに回復するものと想定しております。
- ・先端医療機器市場につきましては、カテーテル等を用いた低侵襲医療への需要が順調に伸長するものと想定しております。
- ・MaaS/IoT市場につきましては、モビリティの進展やIoTの普及に伴い、順調に成長するものと想定しております。
- ・業績予想の前提となる為替レートを、本年2月以降当期末までを1米ドル=150円(前回予想時は1米ドル=145円)としております。

このような前提のもと、通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、セグメント別売上高を下表のとおり修正いたします。営業利益につきましては、FC・MDセグメントにおいては増収に伴う増益が見込まれるものの、VCCSセグメントにおける減収及び物流費の増加などによる減益が見込まれることに加え、CTCセグメントにおいて一時的な技術課題対応費用の影響が一部残ることなどから、下表のとおり修正いたします。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=150円のもと、為替差損350百万円を見込み、下表のとおり修正いたします。

通期(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円、%)

	前回予想 (2024年11月8日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	82,000	82,000	—	—
VCCS	55,600	55,400	△200	△0.4
CTC	15,300	15,300	—	—
FC・MD	10,800	11,000	+200	+1.9
インキュベーション センター	300	300	—	—
その他・調整額	—	—	—	—
営業利益	4,450	4,000	△450	△10.1
VCCS	2,800	2,750	△50	△1.8
CTC	1,650	1,250	△400	△24.2
FC・MD	750	850	+100	+13.3
インキュベーション センター	△750	△850	△100	—
その他・調整額	—	—	—	—
経常利益	3,650	3,650	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,350	2,350	—	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,702	19,887
受取手形及び売掛金	13,129	14,105
商品及び製品	8,445	9,199
仕掛品	470	462
原材料及び貯蔵品	5,860	6,256
その他	2,563	2,383
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	49,169	52,291
固定資産		
有形固定資産	19,754	19,639
無形固定資産	1,642	2,698
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,114	1,193
その他	4,727	4,826
投資その他の資産合計	5,841	6,019
固定資産合計	27,238	28,357
資産合計	76,408	80,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,310	7,728
短期借入金	6,158	4,999
1年内返済予定の長期借入金	1,600	1,659
未払法人税等	518	953
賞与引当金	904	737
その他	4,134	4,805
流動負債合計	19,625	20,882
固定負債		
長期借入金	4,500	4,797
退職給付に係る負債	547	619
その他	1,350	1,152
固定負債合計	6,398	6,569
負債合計	26,023	27,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,819	7,819
資本剰余金	7,804	7,804
利益剰余金	28,418	29,903
自己株式	△635	△635
株主資本合計	43,407	44,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,084	1,124
為替換算調整勘定	5,463	6,769
退職給付に係る調整累計額	348	316
その他の包括利益累計額合計	6,896	8,209
非支配株主持分	80	95
純資産合計	50,384	53,197
負債純資産合計	76,408	80,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	57,104	61,830
売上原価	48,615	50,089
売上総利益	8,488	11,740
販売費及び一般管理費	7,741	8,640
営業利益	747	3,100
営業外収益		
受取利息	78	65
受取配当金	60	75
為替差益	1,062	564
その他	106	106
営業外収益合計	1,308	812
営業外費用		
支払利息	190	145
持分法による投資損失	36	16
その他	64	37
営業外費用合計	291	199
経常利益	1,764	3,713
特別利益		
固定資産売却益	5	3
投資有価証券売却益	8	—
その他	—	24
特別利益合計	13	27
特別損失		
固定資産除却損	32	12
固定資産売却損	0	10
事業構造改善費用	283	224
減損損失	51	—
その他	—	4
特別損失合計	367	251
税金等調整前四半期純利益	1,410	3,489
法人税、住民税及び事業税	741	1,038
法人税等調整額	△294	△118
法人税等合計	447	920
四半期純利益	962	2,568
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	963	2,557

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	962	2,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	39
為替換算調整勘定	817	1,309
退職給付に係る調整額	△15	△32
その他の包括利益合計	1,054	1,316
四半期包括利益	2,016	3,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,013	3,869
非支配株主に係る四半期包括利益	3	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	合計
	VCCS	CTC	FC・MD	インキュ ベーション センター	計			
売上高								
日本	13,040	985	2,739	296	17,061	5	—	17,067
欧米	19,205	2,267	700	0	22,173	—	—	22,173
アジア	9,315	5,929	2,619	—	17,864	—	—	17,864
顧客との契約から 生じる収益	41,561	9,182	6,058	296	57,098	5	—	57,104
外部顧客への売上高	41,561	9,182	6,058	296	57,098	5	—	57,104
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	357	△357	—
計	41,561	9,182	6,058	296	57,098	363	△357	57,104
セグメント利益又は 損失(△)	2,009	△726	41	△592	731	0	15	747

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業等を含んでおります。

3 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	合計
	VCCS	CTC	FC・MD	インキュ ベーション センター	計			
売上高								
日本	14,476	844	3,292	217	18,831	3	—	18,834
欧米	19,929	3,390	966	0	24,286	—	—	24,286
アジア	7,387	7,205	4,116	—	18,708	—	—	18,708
顧客との契約から 生じる収益	41,793	11,440	8,375	218	61,826	3	—	61,830
外部顧客への売上高	41,793	11,440	8,375	218	61,826	3	—	61,830
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	407	△407	—
計	41,793	11,440	8,375	218	61,826	411	△407	61,830
セグメント利益又は 損失(△)	2,092	961	651	△616	3,090	0	9	3,100

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業等を含んでおります。

3 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,989	2,963